

相津地区の 景観まちづくり

No.1

令和4年10月 発行
松阪市建設部都市計画課



松阪市景観計画を進めています！

松阪市では美しく豊かな景観を、かけがえのない市民共通の資産として、誇りと愛着の持てる郷土づくりを実現するため、松阪市景観計画を進めています。

また、良好な景観の形成が特に必要な地区を重点地区に指定し、市民の皆様にもっともっと松阪市の景観を好きになってほしいとの想いで、まちなみの保全に取り組んでいます。

相津地区は、黒を基調とした下見板張りの主屋や離れ、土蔵、塀などで構成された大きな屋敷地が特徴で、現在でも歴史的な建物が多く残され、そして大切に維持管理されているなど、本市を代表する山村集落の貴重な景観として保全する必要性を強く感じることから、重点地区（候補）としての位置づけをしていきたいと考えています。



山村集落「相津地区」について

相津地区は、本市相津と大台町三瀬谷をつなぐ、相津峠の北側に位置し、相津川沿いの山間部に形成された山村集落です。

当地には黒を基調とした建造物で構成された大きな屋敷地や、わずかな平地を活かした農地、相津川の氾濫対策と想定される野面積みの外構などが見られ、山村集落における歴史的景観を特徴づけています。

現存している歴史的な建造物は、大切に維持管理されており、住民の地区への愛着が感じられます。

【相津峠】

松阪市から大台町に至る県道沿いはヤマザクラの名所であり、相津峠の上部にある「感謝の丘」からは、美しいヤマザクラや雄大な峰々を望むことができます。



市内では4地区が重点地区に指定されています！

松阪市では、市を代表する良好な景観特性を有し、特に景観保全に努めていく必要がある地区を『重点地区』として指定しています。

重点地区とは、住民、事業者、行政が一体となり、地区の美しい景観を守り、将来にひきついでいくため、市の景観計画に位置づけられた地区のことをいいます。現在、市内4箇所が重点地区に指定されており、地区特有の歴史的まちなみを保全するとともに地区間の交流活動や、住民によるまちなみの保全活動、行灯の点灯などまちなみの演出、地区の歴史や偉人の探求活動など様々な景観まちづくり活動が行われています。

【重点地区や重点地区（候補）の位置】



A 通り本町・魚町一丁目周辺地区



B 市場庄地区

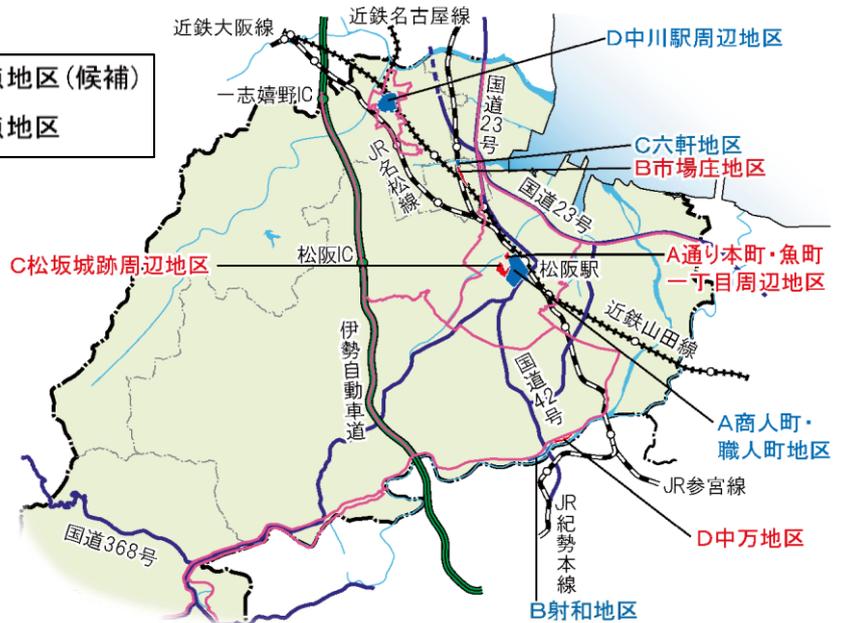


C 松坂城跡周辺地区



D 中万庄地区

- 重点地区（候補）
- 重点地区



重点地区で行われている様々な景観まちづくり活動を紹介します！

歴史的建造物の活用



“格子戸のまちなみ”
を行灯で演出



地区の伝統行事を
現代版として復活



まちの散策を
通じた交流活動



みんなで柿渋塗りにして
まちなみをメンテナンス



景観まちづくり
意見交換会

